

ふれあい記録

実施日：平成30年12月20日

当番者名 熊谷 信雄 新海 昭

コース名：独自コース 65 番「小網代の森から油壺、三浦港」(通し番号：第147回)

天 候：晴れ

参加者名：

相川 勲、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、
新海 昭、西村 寿文、田野実 裕之、根本 邦子、細矢 清志、堀井 克子、船橋 エイ子、
宮原 宏至、山腰 策次郎、吉田 千代

<ビジター>

鶴岡 重典、林 洋、野口 和夫、星野 潤子、十一 厚子

計 22名 (内、男性 15名 女性 7名) (五十音順)

交通(時刻)：

京急 三崎口駅改札口 10:00 集合

コースタイム(時刻)：

三崎口駅出発 10:05→三戸入口信号過ぎの空き地(赤坂遺跡)で体操後 10:20 出発→引
橋入口 10:55→やなぎテラス(記念撮影)11:20→えのきテラス 11:25→アカテガニ広場
11:30→えのきテラス11:40(昼食、記念撮影) 12:20 出発→宮ノ前峠(トイレ)12:25→白
髪神社(参拝、記念撮影)12:35→シーボニア入口 12:55→油壺 新井城址 13:15→三浦氏
の墓 13:25→三浦道寸の墓 13:35 →海岸へ下りる(休憩)13:40、油壺マリンパークバス
停に 14:10 戻る→油壺マリンパークバス停 14:35 発城ヶ島行バスに乗車→三崎港バス
停 14:45 着→自由行動→三崎港バス停 15:43 発→京急三崎口駅着 15:58、解散

みどころ：

- ・小網代の森は森林、河川、干潟が開発されずに連続して残されている自然環境といわれております。アカテガニをはじめとする海の多様な生き物が棲んでいます。この時期にカニは冬眠していることもあり、見る事は叶いませんでした。しかし、森林や河川と共に入り組んだ谷戸には、落葉広葉樹や常緑樹などが入り混じる流域全体の生態系を作り上げられ手つかずの自然を見る事が出来ました。近年、外来種の侵入などもあり、その駆除など、生物多様性の保全や回復に向けた取り組みが必要になっています。
- ・油壺の新井城跡、三浦氏の墓、三浦道寸の墓など、あまり知られていない所を見る事が出来ました。また、三浦道寸の墓を見た後、海洋深層水取水装置(現在も取水はしている様ですね)がある海岸に降りて、海辺を散策し初冬の海の風景を堪能した。

自然観察：

- ・小網代の森は、我々の子供の頃に身近にあった風景でした。しかし、戦後の国土開発によって、各地の森林や河川、谷戸(沢)、干潟(海岸)に人の手が入って開発が進み、小網代の森の様な生態系は関東地域では貴重なものになって、その保全にはNPOや地域住民や市民・企業などの支援で保全されているようです。

特記事項：

- ・さすが三浦一族の地ですね、油壺にお城があったとは知りませんでした。
- ・小網代の森には、カニ類が活動する時期に再度訪れてみたいですね。
- ・目の前に大きな富士山を期待しておりましたが、雲の阻まれて鮮明な姿を見ることができず心残りであった。雄大な大根畑から富士山が少し顔を出しホッとしました。
- ・三崎港での自由時間は皆さん思い思いに行動され、「うらり」で買い物をする人、この地の氏神様の海南神社に詣でる人などさまざまに楽しめました。